

file 26

起業

のむらじゆんこ 野村順子さん

NPO(特定非営利活動)法人
くらしコンシェルジュ理事長
くまもと県民交流館パレア所長・施設管理責任者

PROFILE

1970年千葉県生まれ。夫と子ども2人の4人家族。夫の転勤と共に各地を回りながら、アクティブに活動。



私たちが行動を起こすことで
お母さんたちが輝く後押しを

NPO法人くらしコンシェルジュ
熊本市中央区帯山4-24-23
TEL : 096-213-1761
URL : <http://kuracon.net/company.html>

くまもと県民交流館パレア
熊本市中央区手取本町8-9
TEL : 096-355-4300
URL : <http://k-para.net>

取材担当
尚綱大学短期大学部1年
佐藤佳蓮

一どのようなお仕事をされていますか。

野村 NPO法人くらしコンシェルジュは、「子育てを取り巻く環境支援」「世代間交流」「街・人・生きがいがづくり」の三本柱で活動しています。具体的には、お母さんたちがつながる場所作りや、再就職を考えている方たち向けの職業訓練などを行っています。また、くまもと県民交流館パレアの運営に携わり、キャリアカウンセラーとしての活動など、同じ志を持つ仲間と共に良い社会づくりを目指して、市民活動に取り組んでいます。

一ご自身の転勤族経験も活動に影響を与えていますか。

野村 そうですね。私自身、夫の転勤先での仕事探しに苦労しましたし、子育てをしながらの仕事復帰に苦労するお母さんたちを数多く見てきました。そのため、お母さんたちの就労や活躍を支援したいと思うようになりました。そこで、私たちが行動を起こすことでお母さんたちの輝きを後押しできると考え、社会の課題を解決する一歩として、2006年にNPO法人を設立しました。

一仕事の喜びは何ですか。

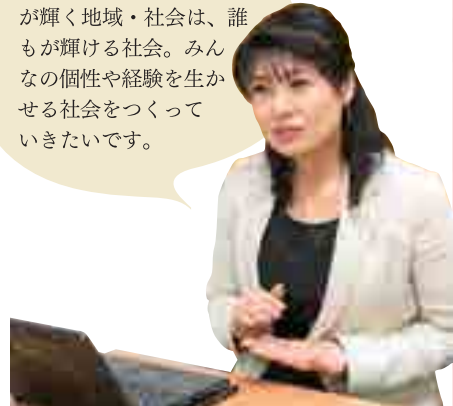
野村 たくさんの方の「ありがとう」

の言葉や「笑顔」が一番の励みになっています。また、2人の息子や家族が仕事に協力的で、私が夜遅くなるときは晩ご飯の支度をして待っていてくれるんです。それが本当にうれしくて、感謝の気持ちと共に仕事にも力が入ります。

一女子学生に向けてのアドバイスをお願いします。

野村 就職活動の際、自分の長所・短所を書く機会があると思いますが、自分の短所を気にしてばかりではもったいないと思います。それより、短所を受け入れて長所を伸ばしていくことの方が大切です。社会にはさまざまな人たちがいます。だから、自分らしい活動や行動をして個性を磨いてください。そうすれば、社会の中で自分自身がキラキラと輝いた存在になれるはずです。

お母さんたち一人ひとりが輝く地域・社会は、誰もが輝ける社会。みんなの個性や経験を生かせる社会をつくりたいです。



輝きの軌跡

野村順子さんの
キャリアストーリー

1991年	熊本市で銀行に入行
1994年	結婚。夫の転勤により退職
1996年	東京都吉祥寺の料理学校で料理研究家のアシスタントとして働く。
1999年	第1子出産
1999年	レストランで栄養士として働く
2000年	夫の転勤でシンガポールへ。
2005年	第2子出産
2006年	生活の拠点を熊本に NPO法人くらしコンシェルジュを設立